

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

理念

世界的視野を持った事業家たちが差別化された事業を通じて社会の進化に貢献する

売上高
45.1億円営業利益
9.0億円営業利益率
20%売上成長率（CAGR）
25%超

② 中長期の経営戦略

1. 公民共創事業の拡大

BtoGプラットフォーム・メディア・ソリューションを中心に、自治体のデジタルトランスフォーメーション対応と民間連携を推進。支援領域の拡張とソリューション拡充

3. メディアPR事業の基盤強化

1999年創刊の『ベンチャー通信』と取材・編集ノウハウを活かし、成長ベンチャー企業の企業ブランディング支援とSTOCK売上の積み上げ

2. グローバルイノベーション事業の安定化

約370万社以上の企業データベース「BLITZPortal」と独自レポート、米国拠点を活かし日系大手企業と海外スタートアップのマッチング支援

4. HR事業の新規立上げ

2025年4月に新事業セグメント化。人材エージェント及びRPOサービスでベンチャー企業の採用課題を解決。既存ネットワークとメディア運営ノウハウを活用

③ 対処すべき課題

① 自治体の行政課題への対応

- ・人口減少・少子高齢化による地域経済縮小と行政ニーズの高度化
- ・職員数減少による効率的・効果的な行政運営の必要性
- ・デジタル化・データ活用による地域課題解決の推進

② 大手企業のイノベーション課題

- ・破壊的イノベーション時代の競争激化で自社リソースのみでは対応困難
- ・外部アイデア・技術の取り込みによるオープンイノベーション必要性
- ・グローバル化に対応した迅速なイノベーション創出の要請

③ 成長企業の採用・ブランディング課題

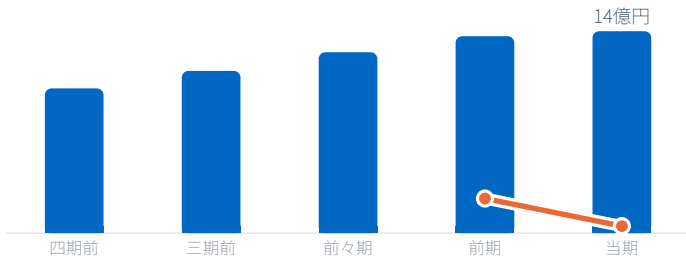
- ・少子高齢化・労働人口減少による採用環境の悪化
- ・SNS・クチコミ浸透に伴う多面的な情報戦略の必要性
- ・自社マッチ人材採用と採用活動リソース不足の課題

面接で使えるポイント

- ・4つの事業セグメント（公民共創・グローバルイノベーション・メディアPR・HR）で、自治体から大手企業…
- ・2030年3月期に売上高45.1億円・営業利益率20%を目標に…
- ・『自治体通信』『ベンチャー通信』など自社メディアと元行政職員10名以上の人材を活かし…

証券コード 143A

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
14億円営業利益率
3.5%財務健康度
74点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 37.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
531万円

サービス業内 348位/524社

平均年齢
34.8歳

サービス業内 404位/527社

平均勤続
3.9年

サービス業内 404位/527社

女性管理職
8.0%

サービス業内 305位/371社

男性育休
100.0%

サービス業内 13位/311社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 明石 智義がイシン株式会社<143A>株式の変更報告書を提出

